

# APP 環境新聞

発行日 2021年8月31日

発行者 エイピーピー・ジャパン株式会社



APPは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



工場におけるワクチン職域接種

ステークホルダー アドバイザリー フォーラム

## APP Stakeholder Advisory Forum 2021 開催

7月12日、アジア・パルプ・アンド・ペーパー (APP) シナルマスが、第10回ステークホルダー・アドバイザリー・フォーラムをオンラインで開催しました。このフォーラムはAPPの持続可能性取り組みの進捗報告と意見交換を目的として毎年開催しているものです。本年度も森林のモニタリングと評価、継続的な森林再生研究の成果、地域コミュニティと協力して市場やサプライチェーンの課題を解決するビジネスモデルについてなど、さまざまな報告が行われました。会の最後には、APPの持続可能性担当役員エリム・スリタパが総括し、データを正確かつ徹底的に分析して現場の活動に活かす必要があると語りました。<http://www.app-j.com/topics/1670.html>

## 植えた苗が枯れる? ~ 「森の再生プロジェクト」活動報告 <2> ~

エイピーピー・ジャパン株式会社 (APPジャパン) は、売上の一部をベランタラ環境保護基金に寄付してインドネシアの森を再生する「森の再生プロジェクト~いっしょにSDGsに取り組もう!~」を行っています。昨年末から年始にかけて、5ヘクタールに2,500本の苗を植え、現在、さらに10ヘクタールの森林再生に取り組んでいます。

昨年植えた苗は、絶滅危惧種に指定されているラミンを含む4種類でしたが、そのうちの20%が枯れていたと現地から報告がありました。ベランタラによると、原因のひとつは「根が土に到達できなかった」ことだそうです。

苗を植える際には下草を刈りますが、インドネシアの泥炭林では、下草を刈ればそこに土がある

わけではありません。まず、枯れた枝葉が堆積している層があり、その下に土があります。成長の早い雑草はあっという間に堆積層を突き抜けて根が土に到達しますが、私たちが植えた苗木は——特に成長の遅いラミン種は——根が土に到達する前に養分を取り込めずに枯れてしまったのです。ここにも厳しい競争の世界があります。

この教訓から、現地では植えた後のメンテナンスを注意して行うようになりました。

枯れた苗は全て植え替え、現在、元気に成長しています。

(次号報告につづく)



## 印刷用紙・白板紙が「森の再生プロジェクト」対象製品に加わります!

APPジャパンは、2021年9月より、これまでコピー用紙のみだった「森の再生プロジェクト~いっしょにSDGsに取り組もう!~」の対象製品に、印刷用紙・白板紙を追加いたします。

印刷用紙は雑誌やチラシに使われる紙で、コピー用紙に次ぐ当社第二の主力商品です。白板紙は菓子折りや化粧品、日用品などのパッケージに使われる厚紙で、大手飲食チェーンの持ち帰り用紙器に採用されています。

これらの製品は主にAPPの中国工場でPEFC認証製品として生産されていますが、「自然林伐採ゼロ」を誓約した森林保護方針は中国工場も含むAPP全体の方針であり、新たに印刷用紙と白板紙がプロジェクト対象製品となることで、幅広い取引先の皆さまに当社の持続可能性取り組みを知っていただけたらと考えています。



持続可能な森林管理の促進

## サステナビリティ 報告書2020 公開

7月15日、APPサステナビリティ報告書2020が公開されました。(英語)

<http://www.app-j.com/topics/1667.html>

## 今年もエコプロ展に 出展します

APPジャパンとユニバーサル・ペーパー株式会社 (UP) は、2021年12月8~10日に開催されるエコプロ展に出展いたします。2013年から毎年参加して今年で7年目。魅力ある展示をお届けできるよう、ただいま知恵を絞っています!

## インドネシアで デルタ株感染拡大

インドネシアでは、現在、新型コロナウイルスのデルタ株による感染爆発が起きています。7月には一日5万人を超える新規感染者が発生し、医療インフラが整わない中で、現在も深刻な事態が続いています。

APPの工場では、政府や地域の医療組織の協力のもとにワクチンの職域接種を行い、医師から接種を止められている人を除き、工場従業員全体の約80%が1回目のワクチン接種を終えました。現在、各工場は支障なく生産活動を続けており、APPは今後も従業員の安全を守るため、感染対策に取り組んでまいります。

# 【特集】APPとSDGs

最近、「SDGs 17目標のうち、APPはどの目標に取り組んでいますか？」という質問を受けることが増えました。企業の取り組みや学校教育を通じ、SDGsの社会認知が進んでいるようです。

ここでは、最新の『[APPサステナビリティ報告書2020](#)』等から、各目標に関連する取り組みを紹介し、事業に直結している具体的な目標を掲げているものは緑色で示しました。

 	<p><b>1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 森林火災防止のための地域活性化 (DMPA) プログラムにより、500の村で焼き畑に依存しない生計手段の確立を支援</li> <li>● 伐採権保有地以外でも、ベランターラ基金が105の村で生計手段の確立を支援し、地域住民の収入向上に貢献、他</li> </ul>	 <p><b>10. 人や国の不平等をなくそう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● あらゆる苦情について、90日以内に報告書を作成し公開</li> <li>● 地域住民との対話でFPIC原則 (Free, Prior and Informed Consent/十分に情報を与えられた上での自由意思に基づく事前の合意)を順守、他</li> </ul>
	<p><b>3. すべての人に健康と福祉を</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 休業を伴う労働災害率を1未満に抑制</li> <li>● 工場周辺地域に巡回医療往診サービスを提供</li> <li>● 工場周辺地域のインフラ整備と雇用の拡充、他</li> </ul>	 <p><b>11. 住み続けられるまちづくりを</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場周辺世帯に電力を供給</li> <li>● 井戸・上水道・トイレ・灌漑設備の建設</li> <li>● 学校の設置・補修や用具の寄贈、集会場の設置、他</li> </ul>
	<p><b>4. 質の高い教育をみんなに</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員2,500人を対象に人材開発プログラムを実施</li> <li>● 工場周辺地域に学習センター等を建設する、他</li> </ul>	 <p><b>12. つくる責任つかう責任</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然林伐採ゼロの誓約 (2013年)の継続</li> <li>● 排気、排水、固形廃棄物による環境負荷の削減、他多数</li> </ul>
	<p><b>5. ジェンダー平等を実現しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本社の管理職の女性比率を30%に引き上げ</li> <li>● DMPAプログラムを通じ、森林地域の女性1,000人の生計手段確立を支援</li> <li>● ベランターラ基金が9つの女性グループを設立し、非木材林産物や加工食品の開発を支援、他</li> </ul>	 <p><b>13. 気候変動に具体的な対策を</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場で紙1トン生産時のカーボン排出量を30%削減</li> <li>● 森林火災による伐採権保有地の焼失面積を2%未満に低減</li> <li>● ベランターラ基金による景観レベルの森林保護</li> <li>● 地域社会へ気候変動や自然保護に関する環境教育の実施</li> <li>● 泥炭地の水位維持を始めとする最善管理、他</li> </ul>
	<p><b>6. 安全な水とトイレを世界中に</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場で紙1トン生産時の水使用量を30%削減</li> <li>● 工場周辺地域で井戸、上水設備・トイレ・灌漑設備を建設</li> <li>● ベランターラ基金による水処理施設の設置、他</li> </ul>	 <p><b>14. 海の豊かさを守ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 政府・企業・NGOから成るMERA (マングローブ生態系復元アライアンス)に加入し、沿岸のマングローブ林を再生</li> <li>● ベランターラ基金による漁場の整備、他</li> </ul>
	<p><b>7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生可能エネルギーの利用を全体の50%に引き上げ</li> <li>● 工場周辺世帯に電力を供給、他</li> <li>● ベランターラ基金による、廃棄物からバイオガスを生成する設備の建設</li> </ul>	 <p><b>15. 陸の豊かさを守ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 泥炭林を含む50万ha以上の自然林の保護</li> <li>● 絶滅に瀕した動植物種の保護</li> <li>● 伐採権保有地以外でも、ベランターラ基金が42万ha以上の森林を保護および再生、他</li> </ul>
	<p><b>8. 働きがいも経済成長も</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● DMPAプログラムを通じ、500の村で生計手段の確立を支援</li> <li>● ベランターラ基金が、エコツーリズム支援の一貫として、地域住民と共同でその地域ならではの食品や工芸品を開発、他</li> </ul>	 <p><b>16. 平和と公正をすべての人に</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公正なビジネス行動規範の制定</li> <li>● 地域住民との対話ではFPICの原則を順守、他</li> </ul>
	<p><b>9. 産業と技術革新の基盤をつくろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● DMPAプログラムを通じ、500の村で焼き畑に依存しない代替生計手段の確立を支援</li> <li>● 生分解製品の開発、他</li> </ul>	 <p><b>17. パートナーシップで目標を達成しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域コミュニティと協力して森林火災を抑制</li> <li>● APP、ベランターラ基金とともに、自治体、大学、専門家、NGO、地域コミュニティなどと協働、他</li> </ul>

## ワールドビジネスサテライトの取材を受けました

2021年8月3日、UPがテレビ東京の経済報道番組「ワールドビジネスサテライト」の取材を受け、当日夜に放映されました。

この日の特集は「デルタ株 東南アジアで猛威」と題して感染拡大によって幅広い産業のサプライチェーンがリスクにさらされて

いるという内容で、ソフトパック・ティッシュを中心にUPの製品も取り上げられました。

現在、生産に支障を来さないよう徹底した感染対策を施し、流通面でも安定供給できるよう努めています。



## インドネシアの熱帯林保護のため、ご協力をお願いします/ベランターラ基金への寄付・協力の方法

- 1 APPジャパンの製品を購入する→売上の一部がスマトラ島の森林再生事業に寄付されます
- 2 個人・法人等で寄付をお考えの方→APP ジャパンにご連絡ください ([sustainability@appj.co.jp](mailto:sustainability@appj.co.jp))